

ウォーキング同好会

水戸歩く会 5 月号

発行 水戸歩く会

発行者 朝川 憲 〒310-0815 水戸市本町 3-16-23

携帯 090-2913-0068 メール higurasi@ozzio.jp



5 月の誕生花:スズラン 純粋

◎2025 年 5～6 月例会予定（都合により変更になる場合があります：雨天中止）

5/10（土）	いにしえの那珂湊を歩こう 元気に歩ける方	
距離	8 km（ⅠⅤⅤ）	
集合	大洗鹿島線 大洗駅 8：30 スタート 9：00 水戸駅発 8：04 便利	
コース	大洗駅→山村暮鳥散歩道→願入寺→海門橋→華蔵院→湊公園→四郎介稲荷→あべ川→那珂湊駅	
解散	那珂湊駅 13：30～14：00 頃	
参加費	一般・他協会 300 円、中学生以下無料	
見どころ	水戸藩ゆかりの史跡めぐり	
その他	昼食、飲料水、保険証持参願います。マスクは各自の判断	
5/24（土）	赤羽緑地公園のクリンソウと野鳥観察 元気に歩ける方	
距離	8 km（ⅠⅤⅤ）	
集合	常磐線おおみか駅西口 8：30 スタート 9：00	
コース	おおみか駅→赤羽緑地公園→おさかなセンター→日立灯台（昼食）→おおみか駅	
解散	おおみか駅東口 13：30 頃	
参加費	一般・他協会 300 円、中学生以下無料	
見どころ	自然にふれてリフレッシュ	
その他	昼食、飲料水、保険証持参願います。マスクは各自の判断	
6/14（土）	水戸のあじさいまつり 昼食必要 元気に歩ける方	
距離	8 km（ⅠⅤⅤ）	
集合	水戸駅北口 8：30 スタート 9：00	
コース	水戸駅北口→水戸八幡宮→保和苑→あじさいと湧水群の小径→水戸駅北口	
解散	水戸駅北口 13：30 頃	
6/28（土）	南郷道（野上原駅～山方宿駅） 昼食必要 元気に歩ける方	
距離	8 km（ⅠⅤⅤ）	
集合	水郡線野上原駅 10：10 スタート 10：30	
コース	野上原駅→古道歩き→山方宿→岩井橋→御城→山方宿駅	
解散	山方宿駅 14：00 頃	

◎例会レポート 4/5（土）さくら舞う穴戸の寺院巡りと道の駅かさま 8 km 気温：14℃

参加者：44名（会員12名 一般32名）スタッフ：朝川・西口・倉持・福田・小森・千田

今回は集合時間を間違えてしまいました。8時に集合した参加者の皆様大変ご迷惑をお掛けしました。

お詫びに、集合時間まで穴戸陣屋跡と穴戸陣屋土塁を案内させていただきました。

今日は良い天気恵まれ、絶好のお花見ウォークとなりました。コースを一部変更して

「ぽつんとしだれ桜」を觀賞し、完全寺（境内手前迄）、光明寺、唯信寺の大小しだれ桜を心ゆくまで觀賞
光明寺で記念撮影し唯信寺で穴戸藩のレクチャー。境内に立ち入らせてくれた住職さんに感謝申し上げます
IT 高校の急坂を上りきったところで小休止。松山団地掲示板前で給水タイム。国道を下り「道の駅かさま」
昼食タイム。残念ながら1名が体調不良になり応急手当をし救急車で病院に搬送されました。幸い体調も
戻り回復されました。4月といえども気温の影響で軽い熱中症かもしれません。今後の課題として、
こまめな給水タイムをとる。経口補水液と足のすり防止の漢方薬を常備することになります。

帰路は養福寺で「元治甲子之変殉難碑」に参拝し、簡単な説明をして、参加者紹介、IVV 配布、10 回完歩
表彰して穴戸駅にオンタイムで到着。大勢の方に参加いただきありがとうございました。

（朝川記）



光明寺にて記念撮影



一本しだれ



唯信寺



（カメラマン：西口利雄）

願入寺 巖船夕照 烈公の歌に「筑波山あなたは暮れて岩船に日影そ残る岸のもみち葉」

1214年(健保2年)に浄土真宗の宗祖「親鸞」が布教活動の為に常陸国へ移り住み、その後を追ひ、親鸞の子「善鸞」と孫の「如信」も陸奥国の大網(現在の福島県石川郡古殿町)に「草庵」を構え普及活動を行います。この草庵が後の願入寺となり、移転を繰り返しながら江戸時代の延宝(1673~1681年)以降に常陸国水戸藩第2代藩主の「徳川光圀」により、大洗の祝町に移されます。本堂や開基堂には、本尊の阿弥陀如来立像の他、親鸞聖人の画像や香合などの県指定文化財が保管されています。

境内や周辺には徳川光圀お手植と言われる銀杏や、磯節普及に努めた竹楽坊の像、江戸時代の敵討で打たれた成瀬万助を祀ったお堂などがあります。

万助さんは、水戸光圀公以来、願入寺内町として栄え賑わう祝町の一角に万屋九兵衛と名乗り、後添いの女房と共に「万屋」という店を構え、香具や雑貨を扱う商いを営んでいた。

時は文政7年(1824)4月27日夕暮時、晩酌中の万助さん宅に「親の仇! 覚悟!」と浅田只助の遺児(兄弟)が乱入、予想しない不意打ちに万助さんは抵抗する間もなく無残な最後を遂げました。

正式な書状を持った敵討とはいえ、子ども達に武道を教え、読み書きを手ほどきし、周りの人々の信望も厚かった万助さん、あまりにも突然の出来事によって非業な最後を遂げ、悲惨な死を目の前にした地元の人々は、「あの時刀さえ持っていればむざむざ殺されずに済んだのに…」と哀れみ、万助さんと付き合いのあった人達が願入寺に願い出て、お墓を建てた。(現在の墓石には「鳴滝氏の墓、天保2年8月15日祝町・湊商人連中」とある)いつの頃からか「万助さん」として「刀をあげてお参りすれば願い事が叶う」と人伝えに広がり、花や線香を手向ける人が絶えない。

威賓閣 湊公園・湊御殿の松

徳川光圀の別荘跡。建物は元治甲子の乱(1864)で焼失されたが、今は海を眼下に見渡す風光明媚な公園として親しまれている。公園内には須磨明石から移植した樹齢300年以上の見事な黒松(市指定天然記念物)が生育

華蔵院 真言宗智山派 本尊：大日如来 梵鐘：茨城県指定文化財

1163年(応保3年)開山。1864年(元治元年)天狗党の乱のあおりを受け焼失した。1881年再建梵鐘は「華蔵院の猫」の民話でも知られている。元々は常陸大宮市上檜沢の浄因寺(廃寺)にあったものを水戸藩より大砲製造のために供出させられたが、なぜか錆漬されずに残ったため、華蔵院の所有となった。ある晩のこと、湊村の商人が商売の帰りに。小金の原というところを通りかかると、何やらにぎやかに酒盛りをしている様だった。こんなところで誰が酒盛りをしているのだろうと近づいてみると、それは数匹の猫たちだった。猫たちは、「華蔵院がこないのは残念だなぁ。」「今日は一体どうしたのだろう。」などと、酒を飲み飲みやっている。そこに、袈裟をつけた猫が、「いや一遅くなって申し訳ない。袈裟がなくてこられなかったのだよ。」といいながらやってきた。遅れてやってきたのが、猫たちの話の中にでてきた華蔵院という猫らしい、それにしても不思議なこともあるものだと思ひ、湊村へもどると早速、華蔵院の和尚さんにこの話をして聞かせました。すると和尚さんは、ひざの上の猫の頭をなでながら「その猫はこれでしょう。」と言ったのだそうです。それ以来猫は姿を消してしまったそうです。



《願入寺》



《万助お堂》



《湊公園》

◎例会予告ミニガイド 5/24 赤羽緑地公園のクリンソウと野鳥観察



《日立灯台》

古房公園内に立ち、地元の方からは水木灯台、おおみか灯台と呼ばれ親しまれています。和ろうそくの形の白亜の灯台です茨城県沿岸では唯一、巨大なレンズ（3等大型レンズ）を使用した灯台となっており、強い光を発し、沖を航行する船舶の目印として海の安全を守っています。



【事務局】

令和7年度の事業計画は総会の承認を受けてから6月号に掲載します。